



086-245-4343
相談電話 24時間いつでも シミジミ

岡山県民の電話



写真 倉敷市酒津

川は

斎藤 恵子

風を受けながら
波立つことを怖れないから
いつまでも新しい

草を食みながら
失ったものを
忘れてしまう

日と月を浮かべ
還らぬものを
悲しんだりしない

石を重ね
川底でひっそり
思い出が流れていく
葦笛の音を聴いている

行き先へ傾ぐ姿に
光が差すと
こぼさないように
微笑みを浮かべる

わたしでありつつけるために
入れ代わりながら時折
立ち止まって
せせらぐ

「日本の心岡山の心」

第 27 回自殺予防公開講演会

2013 年 11 月 30 日(日) オルガホール(岡山市北区奉還町)

岡山民俗学会名誉理事長：立 石 憲 利 氏



小さな鳥がなぜ鳥の王様になったか

この間、津山に行きましたら、紅葉が非常に綺麗だったんです。この時期、山の奥にいたミソサザエ、和名ではミソサザイですがスズメの半分くらいの小さな鳥で、里に下りて来るんです。私は県北の生まれですから「ミソサザエが里に下りてきて家のまわりで飛びだすと雪が降る」といわれております。

子供の頃に親からミソサザイは「ちっちゃいけれど、鳥の王様なんじゃ」と聞かされた事があるんです。あの一番小さい鳥に属する鳥がなぜ鳥の王様のなのか、という話をしたいと思います。

昔、鳥の世界も色々な者が出てきて、あちこちでケンカし、まとまりが出来んようになった。それを見た心ある鳥たちが「ちゃんとまとまるように王様でも決めて、まとまりを作ったらどうじゃろか」と「森の中の広場にみんな集まれ」と連絡を取り、たくさんの鳥たちが広場に集まった。

司会の鳥が「みんなが仲よう暮らせるように鳥の王様を決めて仲ようするようにしたらどうかと思う。王様になりたい者があったら手を挙げてくれ」。しばらくして最初に手を挙げたのがツル。「私が鳥の王様にふさわしい。身体も大きいし美しいし遠くまで飛ぶことも出来る」。そうしたらワシタカという大きな鳥が「力が強いからわしが王様じゃ」。そうしたらツバメが「わしは鳥の中で一番速く飛ぶことが出来るからわしが王様じゃ」。そしたらウグイスが「一番美しい声で鳴から私が鳥の王様にふさわしい。ホーホケキョ」と鳴いたんじゃ。

次々に「王様になりたい」と言うので、司会の鳥が「向こうに一頭のイノシシが昼寝をしとる。あれを退治した者を鳥の王様にしたらどうじゃろか」。鳥たちはみんな「それだったら良い」。しかし誰も飛んでいく者がおらん。

そしたら一番隅で黙って聞いておった、ちっちゃいミソサザイがコトコトコトと飛んで行って寝ているイノシシの耳の中にスポッと入ったか、と思ったら「チョンチョンチョン」と鳴きだした。イノシシはびっくりして一生懸命耳を掻き出すけれど、出せない。頭の中が割れるほど「チョンチョン」と鳴かれ、狂ったように走っている内に大きな岩に突き当たって倒れて死んでしまった。そして耳の中から出てきたミソサザイが飛んで帰ると、みんなが「ミソサザイが鳥の王様じゃ」。鳥の王様はミソサザイに決まったんじゃ。王様だから冬寒の間、山の中にいるのは気の毒だから冬の間、家の近くで住めるようになって、今でも雪が降るようになると里に下りて家の周りで住んでいるんじゃって。昔こっぶり。

昔話の生きる知恵

人を評価するのに、知恵の出し処「どうやったらあのイノシシを退治する事が出来るか」、実際に生きる中でミソサザイは良く知っていると思う。だから子供達に親は「ちゃんと自分で生きるようにしなさいよ」「力が強いだけでもいけませんよ」「美しいだけでもいけませんよ」「大きいだけでもいけませんよ」だとか色々なメッセージを出していると思うんですね。

動物植物が出てくる話はたくさんあって、半世紀前はほとんどのお宅が百姓で、職業柄自然の事を知らないといけんです、昔話で教えると面白いし、子供も楽しく聴いて関心を持つようになる。自然現象の移り変わりもそこで知る。子供の時から自然に親しむように楽しく教えてきたんだと思うんですね。そこが昔話の良いところだし、大切なところだと思うんですね。

落ちこぼれの桃太郎

岡山は「桃太郎」の話がたくさん伝わっているんです。でも岡山が桃太郎と結びつくのは昭和5年からです。岡山で伝わっている桃太郎の話の一つ。

なんと昔、あるところにお爺さんとお婆さんがおったそう。お爺さんはやまに柴刈りに、お婆さんは川に洗濯に行ったそう。お婆さんが川で洗濯をしようと川上から大きな桃が流れてきたそう。

お婆さんがその桃を拾うて戸棚の中にしもうて、夕方お爺さんが帰って「戸棚から出してよばれんさい」「そうか頂こうか」。ところが戸棚が開かんからマサカリで戸棚を壊したそう。そうしたら中で桃が二つに割れて中から男の子が生まれとった。

「お婆さん桃の中から男の子が生まれとるぞ。うちの子にして育てようじゃないか」お婆さんは「桃から生まれたけえ桃太郎という名前をつけよう」。桃太郎はぐんぐんぐんぐん大きゅうなった。そしたら近所の子どもが「桃太郎さん、桃太郎さん、山に木をこりに行きましょや」誘いにきた。桃太郎「あーあ。きょうはわらんじを作らんといけんからいけん」「ほんなら明日行こう」

次の日「桃太郎さんわらんじができたか。きょう行きましょやよ」「うん、きょうはわらんじができたけど、わらんじのヒゲをむしらんといけんからいけん」次の日「荷物を背負う背な当てを作らんといけん」「背な当てのヒゲをむしらんといけん」「縄をなわんといけん」「縄のヒゲをむしらんといけん」「鎌を砥がんといけん」次から次に用事を作ってなかなかいかんそう。

「桃太郎さん、まだ道具こしらえてきんか。ぼつぼつ行こうじゃないか」いうたら、「あーあ、やっと道具こし

らえができたから行こうか」

山に着くとみんなすぐに木をこりだす。ところが桃太郎「あー久しぶりに山にきた。ちょっと一休みじゃ」。

そのうちに大いびきをかいて寝だしたそう。「桃太郎さんぼつぼつ起さんと日が暮れるぞ」「ありゃりゃ、よう寝た。わしも木をこしらえないけんなあ」。近くにある大きな木の根元に小便をしたそう。小便すると土が柔らかくなる。そうしたらその木を根元から引き抜いて家に持って帰ってきたそう。

「お婆さん木をどこに置こうかなあ」木小屋に置いたら木小屋が倒れ、裏の山に立てかけたら山が崩れる。「そねえなものはいらんから前の川に捨てとけ」。桃太郎はその大きな木を前の川に投げ捨てたそう。

役立たずのお供？

その音が遠くまで響いてお殿様に届いたそう。お殿様は「何の音が調べてこい」家来に命令したんじゃ。家来がお殿様に報告したら「そんなに力の強い子どもは鬼退治に行かせ」。桃太郎に鬼退治の命令が出たんじゃ。

桃太郎「お爺さんお婆さん、弁当作ってつかあさい」「うちは貧乏で米がないから、きびの団子でも作っちゃろう」桃太郎それを持って鬼ヶ島を目指して歩いて行ったそう。そうしたらコロコロコロコロどんぐりがころがってきたそう。

「桃太郎さん、桃太郎さんどちらにおいでですりゃあ」「鬼ヶ島に鬼退治に行く」「お腰のものはなんですりゃあ」「これか、これは日本一のきび団子じゃ」「一つつかあさい。お供をします」「半分やるから供をせよ」半分もろうてどんぐりはコロコロコロとついていったそう。

またまた行くとブーンブン蜂が飛んできたそう。「桃太郎さん、桃太郎さんどちらにおいでですりゃあ」「鬼ヶ島に鬼退治に行く」「お腰のものはなんですりゃあ」「日本一のきび団子じゃ」「ひとつつかあさい。お供をします」「半分やるから伴をせよ」蜂は半分もろうてブーンブンとついていったそう。

またまた行くとベッタリコベッタリコと牛のくそがやってきたそう。牛のくそもきび団子を半分もろうてベッタリコベッタリコとついていったそう。

またまた行くとコッテンココッテンコ壊れた臼がやってきたそう。きび団子を半分もろうて壊れた臼もコッテンココッテンコとついていったそう。

またまた行くとゾロゾロゾロと腐れた縄がやってきたそう。腐れた縄もきび団子を半分もろうてゾロゾロゾロとついていったそう。



熱心に聴きました

鬼ヶ島到着

みんな鬼ヶ島に到着したそう。鬼の館で鬼が留守じゃったそう。「鬼が留守じゃ。今のうちに隠れとこ」どんぐりは囲炉裏の灰の中に、蜂は水瓶のところに、牛のくそは玄関に横たわってるし、その上に腐れた縄に抱かれた壊れた臼が隠れとるそう。

鬼が帰ってきて「寒いなあ」と、囲炉裏の火を燃やした。燃え出した時に、灰の中のどんぐりが弾けて熱い灰を鬼に掛けたもんじゃから「やれ熱い!」、水瓶のところに行って顔を洗おうと思ったら蜂がブンと刺し「やれ痛い!」、玄関から飛び出したら牛のくそで滑った。その時に腐れた縄が切れ、上から壊れた臼が落ちて鬼はぺっちゃんこになってしまったそう。

鬼を退治した桃太郎はたくさんの宝物を持って帰って、お爺さんとお婆さんと一生安気に暮らしたんじゃ。昔こっぶり。

違いが大切な昔話

岡山県の備中地方に伝わる桃太郎です。前半部分は寝るばかりで、仕事をするにもなかなか用意ができない、私たちの人間社会でいうと、少し落ちこぼれのような桃太郎。そういう落ちこぼれが何かの機会に突然大きな力を出して自分たちに敵対するものを倒すという物語。

みんな語る人ごとによって違うんです。川の流れは全部違い、桃の流れる音一つとっても多彩。その違いを認めることが非常に大切です。

手を繋ぐことで

この桃太郎の話の、どんぐり、蜂、牛のくそ、壊れた臼、腐れた縄、どれも役立たずで、それが何かの機会に手を繋ぐことによって鬼をやってしまう。

今は手をつなぐことが嫌いなんです。小さな田舎の本屋さんが「最近、業界で会社の社員旅行ができる会社が無くなった。昔は社員旅行、忘年会、花見、羽目をはずして大騒ぎをした。今は社員旅行に、まず若い人から何で日曜日まで出んといけんのですかと欠席。忘年会でさえもなかなか出席しない。みんなで何かをやるという人間関係ができなくなってきた」とこぼしてらっしゃいました。

私たちの町内会でさえ以前は葬式があると町内で手製の葬式をやっておったんですけど、最近では「講組の人に迷惑かけるから」と全部セレモニーというところでやるようになった。寂しいですねえ。だけどね、これ続けておったら日本の社会は崩れてだめになってしまう。互いが生の声で相手の顔をみてそして話をする。「きょうのご飯はおいしいなあ」旦那さんが奥さんに一言かけてごらんさい、奥さんは「今度は本気で作ろうか」という気になるんですよ。声をかけてそれに対して応えるということを通じて夫婦でも家族でも親子でも地域でも生の声でお互いに声を掛け合って話をする。双方通行の関係を作るといことを是非やってほしいなと思う。

昔話というのはそういうものの基礎だろうなと思ってきょうは話をさせていただきました。

(要旨 広報部)

女性が危ない！

女性からの自殺関連件数が増加

電話相談
統計
2013年
1月～12月

総受信件数

19,858 件 (うち男性 11,308 件、女性 8,550 件)

自殺関連件数

1,778 件 (対受信率 12.05%)

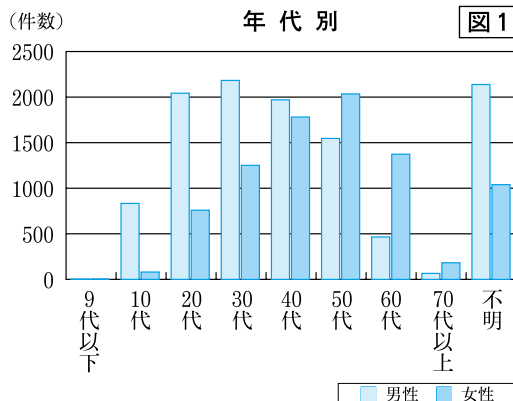
(数値は全て統計部による)

1、50代 60代の女性の増加

全体件数は前年に比べ約 500 件増加していました。年代別では 30 代男性、20 代男性、50 代女性、40 代男性の順に多い件数でした。(図 1) 前年と比べ 20 代男性、50 代女性、60 代女性が増加していました。男女合計では 40 代が最も多く次いで 50 代、30 代で、いずれの年代も 3,000 件以上に上りました。

男性は働き盛りの 20 代から 50 代が多く、それに対し女性は 40 代 50 代 60 代からが多い傾向です。60 代の男性は女性の 2 分の 1 にも及びませんでした。

女性件数は前年に比べ 700 件ほど増加し、男性は 200 件ほど減少していました。男女比は、全体の男性は 57%、女性は 43% で、かつては圧倒的に男性からが多かったのですが、年々差が縮んでいく傾向です。

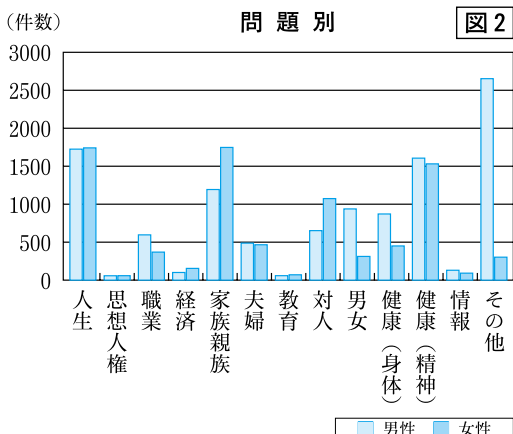


2、人生問題が男女ともに多い

男女合計で、人生問題は全体の 18% を占め最も多く、次いで精神の健康問題の 16%、家族親族問題の 15% となり、いずれの問題も 3,000 件以上でした。(図 2)

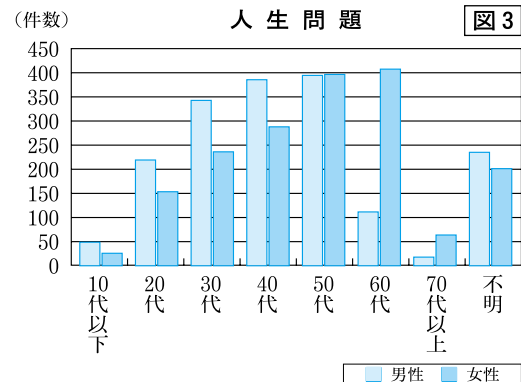
人生問題は前年は男性の方がやや多かったのですが、13 年は男性が少し減少し女性が増え、男女ほぼ同数となり、それぞれ 1,700 件台ありました。精神の健康問題も男性がやや減り女性が増え、男女差は少なくなりました。精神の健康問題では、男性は約 1,200 件で、男女差は約 500 件でした。他に 1,000 件以上あったのは女性の対人問題で、これは前年も女性の方が多い傾向ですが、前年に比べ男性件数はわずかながら増加していました。

夫婦問題、思想人権問題は男女差が少ない傾向でした。



3、人生問題は 50 代が多い

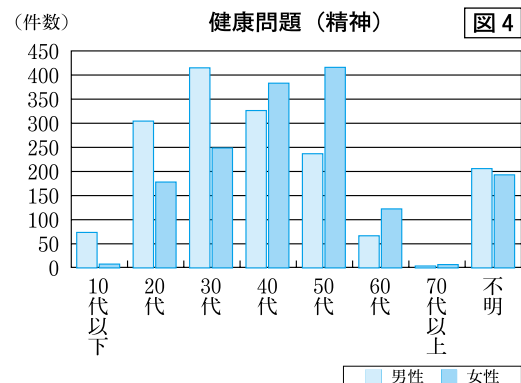
人生問題で最も多いのが 60 代女性、次いで 50 代女性、50 代男性となりました。(図 3) 前年は 40 代 30 代の男性が多かったのですが、13 年は 40 代男性が約 100 件減少し、60 代女性が 200 件近く増加傾向でした。50 代 60 代の女性からは増加し、全体としては約 200 件減少傾向でした。50 代 60 代女性ではたびたび掛けてこられる頻回通話者が考えられます。50 代まで多い男性は 60 代になると少なくなります。全体の男女比は 50%・50% で、ほぼ同数。特に 50 代に差がありません。



4、精神の健康問題は 30 代男性と 50 代女性が多い

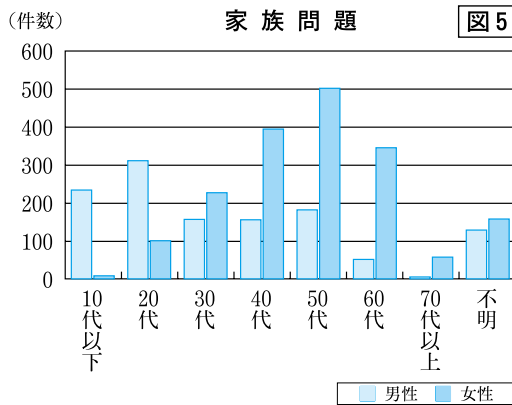
精神の健康問題は男女合計では 40 代が最も多く、次いで 30 代 50 代となりました。(図 4) 前年は男女合計で 30 代が最も多かったのですが、13 年は男女合計で 200 件近く減少していました。

50 代女性と 30 代男性がほぼ同数です。全体の男女比は 51%・48% で男女差は少なくなっていました。男性は 30 代がピークで年代が上がるに従って減少傾向ですが、女性は 20 代から 50 代へ年代が上がるに従って多くなっていました。前年に比べ 50 代女性は増加していました。



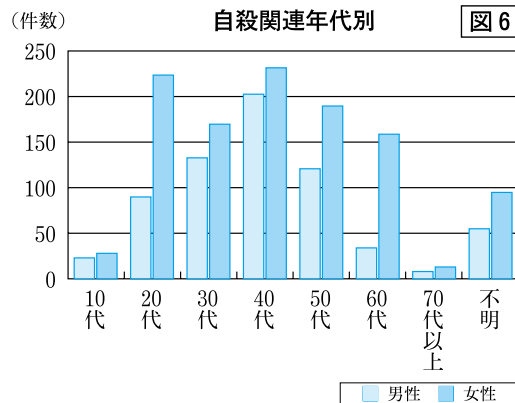
5、家族問題は前年より増加

家族問題は全体で 3,000 件を越え、男女比は 41%・59% と、女性の方からが多くなっていました。(図 5) 50 代女性からが 500 件あり最も多く、次いで 40 代女性 60 代女性となりました。10 代 20 代の男性からは子どもの立場からと考えられ、40 代以降の女性は妻や母の立場からではないかと考えられました。家族問題は前年に比べ男女ともに増加していました。男性件数も増加していましたが、40 代から 60 代の父親の立場にあることが多い男性件数は少なく、家族問題は従来通り女性が負うということが多いのではないかと考えられました。



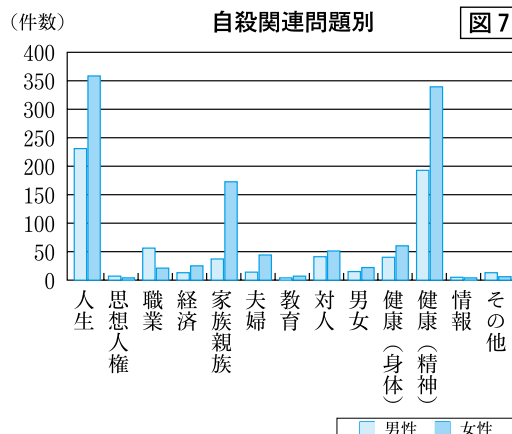
6、自殺関連件数は20代40代女性が多い

自殺関連件数は1,778件で前年に比べ100件近く減少していました。年代別では、30代と40代がやや減少し、20代50代60代は増加していました。(図6) 最も多いのが40代女性で、次いで20代女性、40代男性でした。前年は40代男性が最も多かったのですが、13年は20代女性が前年と比べ約60件の増加で2位になりました。全体の男女比は38%・62%で、前年は男女差が少なかったことに比べ、13年の女性件数は1,000件を越え女性の割合が多くなりました。60代では女性は男性の4倍以上あり、年齢を経ても悩み多い女性の姿が浮かびます。



7、自殺関連問題では女性の人生問題がトップ

問題別では、最も多いのが人生問題で、次いで精神の健康問題で、どちらも500件を越え、次いで家族問題となりました。(図7) 人生問題では前年に比べ男性は約70件減少し女性が約90件増加し、合計では前年に比べ増加傾向でした。前年は人生問題では男性の方が多かったのですが、13年は逆転し、女性件数が多くなりました。精神の健康問題でも男性はやや減少し、女性は前年とほぼ同数でした。家族問題も、男性はやや減少、女性が30件以上増加していました。家族問題では年代別からも想像されるように、母親として家族の悩みを自殺を考えるまでも重く負うのではないかと思います。



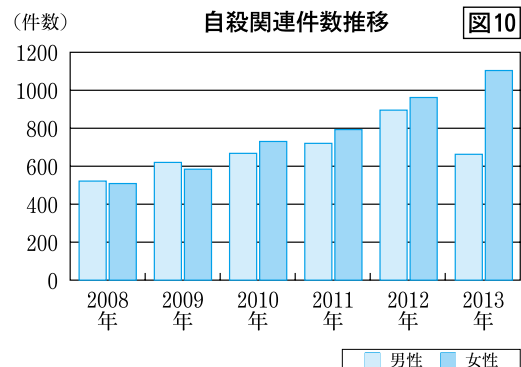
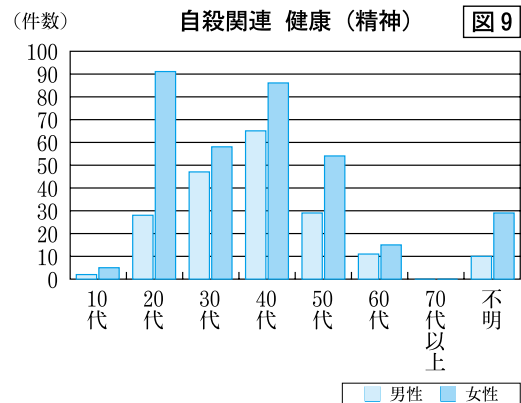
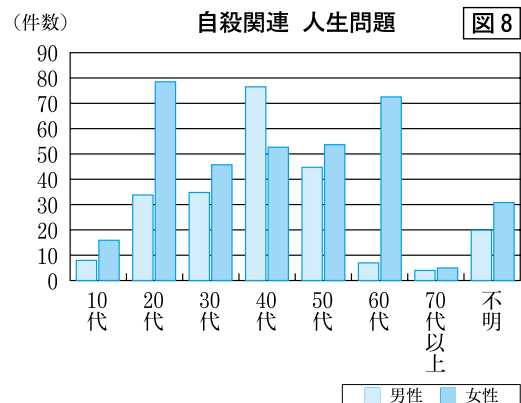
8、女性からの多い自殺関連の人生問題と精神の健康問題

最も多い人生問題は全体の約33%を占め、年代別では20代女性が最も多く、次いで40代男性、60代女性となりました。(図8) 男女比は全体では39%・61%で女性の占める割合が多く、60代では男女差は大でした。精神の健康問題は全体の約30%を占め、最も多いのが20代女性、次いで40代女性となりました。(図9)

2010年から、自殺関連件数はそれ以前は男性が多かったのですが、女性が多くなり、この傾向は13年も続いています。13年の中でも20代女性が増加したことが特徴的でした。かつて女性は話すことで心の安定を得ることが多いといわれていましたが、女性同士の中に競争や格差のある現代、気安く話せないことが多いのかもしれないと考えられました。

「岡山いのちの電話」はさまざまな問題を聴くことができるよう研修を重ね精進し、今日もダイヤルの前にいます。

(文責 編集委員)



— 岡山県民共済から寄付 —

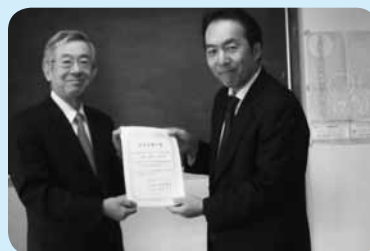
12月12日岡山県民共済さんから今年も寄付をいただきました。大事に使わせていただきます。



県民共済さんから寄附を受ける
堀井会長（右）

— 丸紅基金から助成金 —

11月12日「岡山いのちの電話」開局30周年記念のDVD制作のために丸紅基金から助成金をいただきました。今年は30周年記念の年で、記念講演&コンサートや記念誌作成も実施します。よいDVDを作成したいと思います。



丸紅さん（右）から贈呈書を受ける会長

総会開催

6月7日（土）社会福祉法人岡山いのちの電話協会2014（平成26）年度総会を開催。2013年度事業報告・決算報告、2014年度活動計画・予算について審議を行い、承認されました。また10年30年相談員継続者表彰がされました。

2012年度決算報告及び 2013年度予算

（単位：円）

	摘 要	2013年度 決 算	2014年度 予 算
収 入	事務費収入	4,000	10,000
	受講料収入	550,000	600,000
	自殺予防シンポジウム	60,500	—
	バザー	70,344	100,000
	受託金	2,180,000	2,000,000
	研修参加費	0	90,000
	30周年記念事業		3,000,000
	補助金収入	294,660	1,110,000
	維持会費収入	3,467,000	4,500,000
	賛助会費収入	2,195,193	2,000,000
	その他の寄付金 （共同募金・30周年）	700,000	1,050,000
	運用収入	37,840	50,000
	雑収入	12,392	30,000
	30周年積立金戻入れ	—	1,000,000
	収 入 合 計	9,571,929	15,540,000

（単位：円）

	摘 要	2013年度 決 算	2014年度 予 算
支 出	給料	2,030,000	2,300,000
	賃金	1,236,595	1,050,000
	法定福利費	396,911	410,000
	旅費・交通費	166,360	300,000
	備品費	0	550,000
	印刷費	354,375	400,000
	一般物品費	62,036	100,000
	役務費（火災、ボランティア 保険、振込手数料）	328,196	400,000
	通信費	316,941	400,000
	光熱水費	446,690	480,000
	会議費	9,600	50,000
	借料・貸金庫・会場費	0	70,000
	借料 メンテナンス費用	579,148	580,000
	修繕費	17,755	50,000
	雑費	66,225	50,000
	連盟負担金	179,000	180,000
	市民公開講座	900,000	800,000
	研修費 図書	15,309	30,000
	研修費 養成講座	629,874	800,000
	研修費 継続研修	513,000	550,000
	研修費 全体研修	690,120	900,000
	研修費 自主研修	309,402	400,000
	自殺予防シンポジウム	300,160	—
	30周年記念事業	—	4,300,000
	支 出 合 計	9,547,697	15,150,000
	収 支 差 額	24,232	390,000

イオン 「幸せの黄色いレシートキャンペーン贈呈式」

イオン(株)では毎月11日のイオンデーに「幸せの黄色いレシートキャンペーン」を展開しています。「岡山いのちの電話」は3年前から「イオン岡山店」(青江:旧ジャスコ)に登録参加しています。イオンデーにレジ外の「岡山いのちの電話」が書かれた投函BOXに、黄色いレシートを入れると、その額の1%がイオン(株)から寄付されます。

4月11日ギフトカード(レシート金額の1%で¥53,700分)をいただきました。店頭活動やレシート投函にご協力いただいた皆さん、ありがとうございます。

今後とも協力お願いいたします。



贈呈式

共同募金「地域から孤立をなくそう」 ささえあいプロジェクト募金へ のご協力ありがとうございました

岡山県共同募金会が「地域から孤立をなくそう」というプロジェクトに取り組むことになり、岡山いのちの電話協会も昨年登録団体となりました。「岡山いのちの電話専用振込用紙」を使って共同募金に寄付されますと、岡山いのちの電話の活動資金として25%の割増金が付いた助成金を受けることができる仕組みです。

その結果、1月と2月の限定期間中に専用振込みで集まった募金¥813,345は、割増が付き平成26年度の助成金¥1,013,345となっていただくことになりました。ありがとうございます。

30期相談員認定式・迎える会

3月27日(木)第30期岡山いのちの電話相談員認定式が行われ、11名の新相談員が誕生しました。電話相談活動のスタートです。認定式の後、4月19日(土)一年前に相談員になった29期のメンバーを中心に、ささやかな手作りの迎える会が開かれました。新相談員は先輩相談員の寸劇や心のこもった励ましの言葉を受け、それぞれ喜びと意欲を語りました。



なごやかな迎える会

31期養成講座開講

4月5日(土)から講義が始まりました。宿泊研修などの体験学習をしながら、1年間、電話相談の方法、病める心への理解と援助、人間関係づくりなど多くのことを学びます。



事務局日誌

2013年

- 12月12日 寄付贈呈式 県民共済(堀井・草苅)
- 12月21日 NPOけんかれん研修会(草苅他)
- 12月22日23日 「いのちの電話の将来を考える会」
日本いのちの電話連盟(堀井)

2014年

- 1月9日 地域自殺対策連携調整会議(草苅)
- 1月9日 自殺予防対策ゲートキーパー講師養成研修会
(13名)
- 1月18日 講師派遣「うつ病について理解を深める」
浅口市(黒田)
- 1月23日 講師派遣「いのちの電話と自殺予防について」
備中保健所(宇野)
- 1月25日 フリーダイヤル研修 (講師 日高正宏・
阪田憲二郎・平田眞貴子・岡本正子)
- 2月10日11日 相談員心のケア研修(講師 石田 敦・
熊代 一紀)
- 2月19日 講師派遣「老いの楽しみ」久米南町(黒田)
- 3月3日 自殺予防啓発 街頭ティッシュ配り
(草苅・福田)
- 3月6日 日本いのちの電話連盟理事会(堀井)
- 3月15日 第31期相談員養成講座生面接
第30期相談員認定会議
- 3月23日 理事・評議員会(事業計画・予算案)
- 3月27日 第30期岡山いのちの電話相談員認定式

- 4月3日 寄付贈呈式 (株)エムズ・ユー(宇野)
- 4月5日 第31期生養成講座 開講式 きらめきプラザ
- 4月11日 イオンギフトカード贈呈式(草苅他)
- 4月14日 岡山県共同募金配分
(ささえあいプロジェクト) 交付式(小野)
- 4月17日 会計監査
- 4月19日 第30期相談員を迎える会
- 5月11日 理事・評議員会(事業報告・決算)
- 5月21日 理事会(代表理事選任)
- 5月22日 講師派遣「いのちの大切さを考える」
県総合教育センター(宇野)
- 5月29日 講師派遣「いのちの大切さを考える」
県総合教育センター(宇野)
- 6月5日 日本いのちの電話連盟定期総会(堀井)
- 6月7日 岡山いのちの電話協会総会

自殺予防フリーダイヤル(朝8時~翌朝8時実施)

1月10日 2月10日 3月10日
4月10日 5月10日 6月10日

毎月10日 8:00~11日 8:00 全国で自殺予防フリーダイヤルが行われ、「岡山いのちの電話」も活動に参加しています。

2013年には全国で28,024件、岡山では706件の相談を受け、このうち自殺傾向の相談は228件でした。

資金ボランティア 大募集!!

あなたも、あなたのお知り合いも、職場の方も、
職場も資金ボランティアになって支えて下さい

<維持会員>

個人	A 年 額	2,000円
	B	3,000円
	C	5,000円
	D	10,000円 以上
団体	一 口	10,000円 何口でも

お振込先

郵便振替 01260-4-15857 岡山いのちの電話
銀行振込 中国銀行大元支店 普通預金 1223257
社会福祉法人岡山いのちの電話協会 理 事 堀井茂男

<賛助会員>

折々に自由な金額でご寄付下さる方。
お誕生、お香典返しなど折々に頂けますと幸いです。

<寄付金控除について>

- ・法人は、「特定公益増進法人」への寄付金として、一定金額内で損金算入ができます。
- ・個人は、「特定寄付金」として、支出寄付金額から2000円を控除した金額と総所得金額の40%の少ない金額の範囲内で寄付金控除の対象になります。また寄付をした翌年1月1日に岡山市に在住の方は住民税の寄付金税額控除が受けられます。

第28回

開局 30 周年記念

自殺予防講演会 & コンサート

～ 24時間電話がつなぐ心と心～

2014年 11月 8日(土)

三木記念ホール 13:00～

音楽と講演の2本立ての催しです。充実した秋の日の午後をお過ごし下さい。

第1部 コンサート

ヴァイオリン2本とピアノからなる
新しい3人のオーケストラ
13:00～15:00

第2部 講演

渡辺和子氏 講演
「現代の忘れもの」
15:30～17:00

チケット代 5000円

*問合せ先 岡山いのちの電話事務局

岡山いのちの電話市民公開講座 「こころの力」を今年も開きます

8月24日(日)「見えないから見たこと」

竹内昌彦氏

(岡山県立岡山盲学校講師・岡山県視覚障害者協会理事)

9月28日(日)

「演題わたしもあなたも幸せ元気に生きる方法」

金香百合氏

(ホリスティック教育実践研究所所長)

10月19日(日)「信じる力」

森口章氏

(岡山いのちの電話副会長・沢田の杖塾主宰)

自殺予防フリーダイヤル

「こころの痛み、話せる電話です」

「つらい時、そばにいます」

☎ 0120-738-556

「岡山いのちの電話」は 講師派遣をします

学校、企業、団体などに「岡山いのちの電話」のスーパーバイザーが「こころの専門家」として参ります。詳しくは事務局までお問合せ下さい。ホームページもご覧ください。

編 集 後 記

5月に朝顔やハナスベリヒユやペピーノというトロピカルフルーツの苗を植えた。初夏の陽射しに日増しに大きくなっていくのが楽しみ。「肥料を忘れないように」と知り合いの人が教えてくれる。「花つきが悪くなるから」と。豊かな土壌が必要。日々に追われるだけでなく、ここにも栄養を与えたい。そして、この活動にもご支援をお願いします。(S)

発行 社会福祉法人 岡山いのちの電話協会
発行者 堀井茂男
編集 岡山いのちの電話協会広報部
事務局 岡山市北区上中野1-3-5 TEL 086-245-4344
FAX 086-245-7743
ホームページ <http://www.okayama-inochi.jp>

